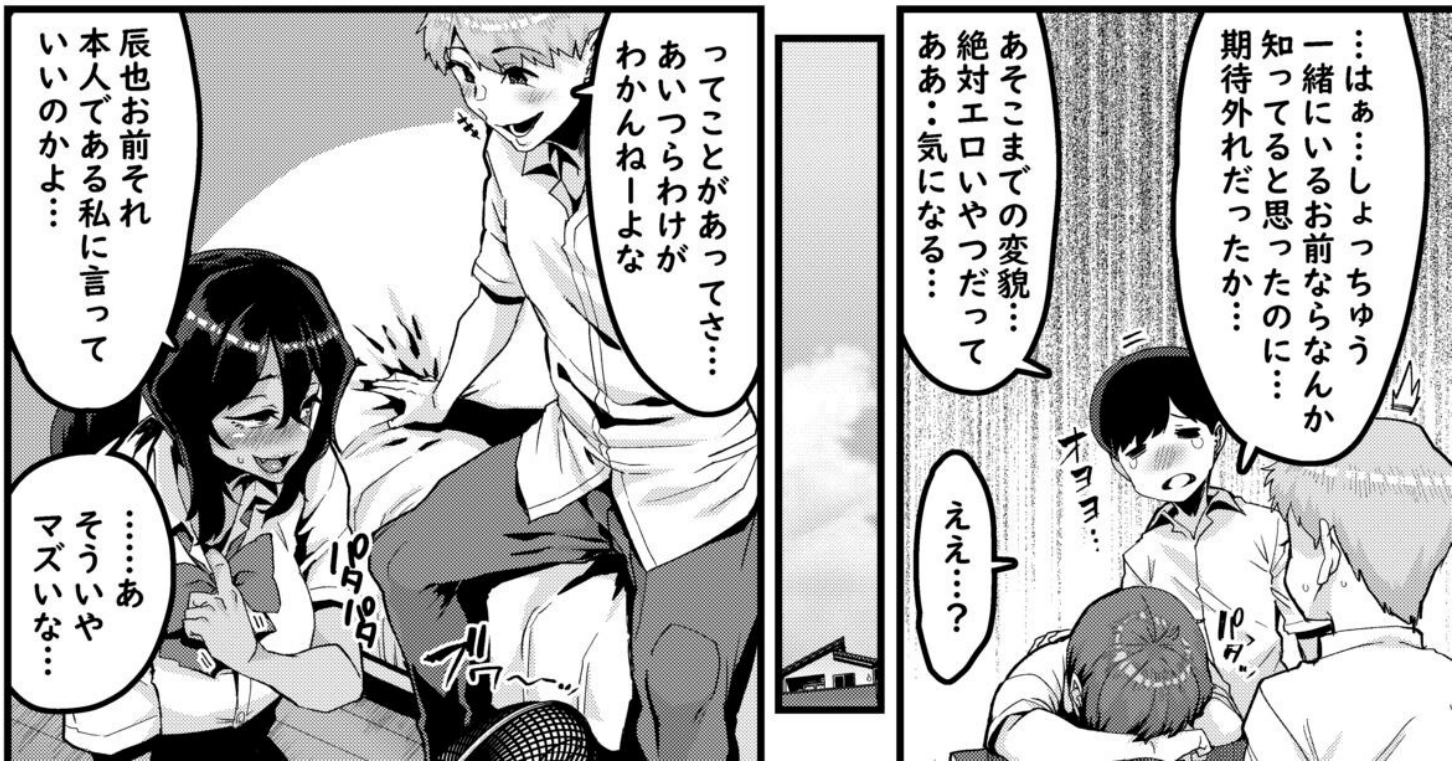
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止
続 ■の方が
ずっと
前から
好きだったのに
presented by HBO

通学路近くで…んっ
隠れてセックス
しちゃってる…
私らヤベーよ…
はぁッ♡
なぁ辰也…
これ見つかったら
どうしような…
なんか…ドキドキ
すんな…♡
パンッ♡
んっおっ♡
いきなり動くなっ♡
お前も…
興奮してん
のかよ♡
朝の一発目…
でてるぅ…
射精…なげぇ♡
クセに…
なりそう…♡

なあなあ風間
ちょっとさ聞きたい
ことがあんだよ！
…風間？
おーい風間達也さーん
話を聞いてくれ～
えっああ
すまん福原…
なにどしたの？
なんだよ
ぼ～っとして…
田村さんだよっ
……舞依が
どうかしたか？
それが夏休み終わってから
田村さんその…凄く綺麗に
なってねぇか…？
いや元からスタイルとかも
よかったけど
…ん～そうか？
…お前さ…あの変化は明らかだろ
なんかさ…休み明けで垢ぬけてさ
その色気が…凄いんだけど…
そこで風間…なにがあったか
知ってたら教えてくれ！
……あ～
すまん俺も
なんも知らん

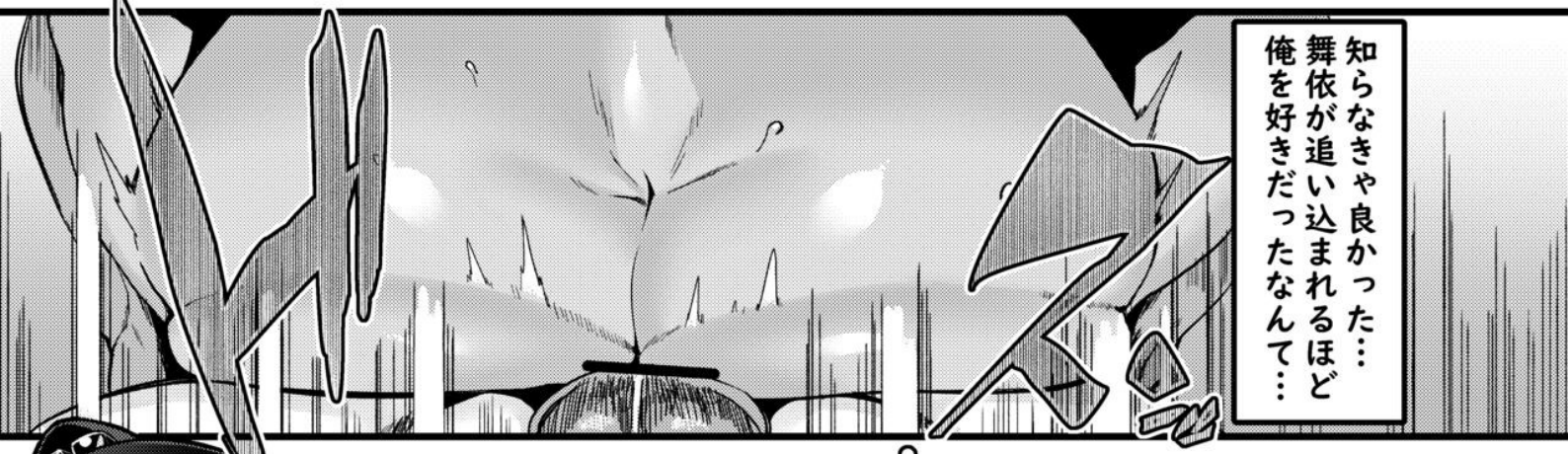

…はぁ…しょっちゅう
一緒にいるお前ならなんか
知ってると思ったのに…
期待外れだったか…
あそこまでの変貌…
絶対エロいやつだって
ああ・気になる…
ええ…？
ってことがあってさ…
あいつらわけが
わかんねーよな
辰也お前それ
本人である私に言って
いいのかよ…
……あ
そういや
マズいな…

しかし色気ね…
にしし…やっぱ
イイ女の色気とやらは
隠せないな～なぁ？
……
イイ女って自分で言うな
あいつらにそのにやけ面
見せてやりたいよ…
まぁなんだ…良かったら
何を変えたか教えてくれよ
えー…おいおい
本人に言わせん
のかよ…
まぁ…ほら髪とか伸ばしたし
制汗剤とか…化粧品の類に…
シャンプーだってさ…っ
仕草だって…きーつけてるし…
あとした…いや…何でもない…
とりあえずっ
そんなところだよ！
おっおう!?
……そうか…
知らんかったは…
なんか悪いな
…そうかよ！
全く…いつも一緒に
居てそれかよ…
あ～あっ
はぁ……
わるかったって！
アイス持ってくるから
それで…なっ？
おいおい…
アイスで機嫌取りか～
ゴンゴン
それだけじゃ…
足りないなぁ？
START
イイ…

おい辰也
見てっか？
実は下着も変えてるんだよね～♡
ああそういえば
私が変わった理由
言ってなかったな？
お前が女に変えたんだよ♡

お前の好みとか
調べちゃったし…
お前のせいだお前の！
このチンコを効率よく勃たせんの
覚えちゃったのもお前のせいだ
知ってるよ…
俺が女にしたってさ…
『あれから』お前凄く
見た目を気にしてたもんな
俺を意識してんのバレバレで
本当に可愛くて…俺に
バレてるとも知らずに…
そうだ…俺がしたんだ…
したはずなんだ…
お前を女に…っ…っ
…知ってる

なのにどうしてこの体は
動かないんだよ…ッ!!
それもこれも舞依の
催眠アプリなんてふざけた
もんのせいだッ!
催眠
START
hypnosishypnosi
…なんで俺にしか
効かなくて…
意識だけは催眠に
かからないんだ…
訳わかんねぇ…
はぁ~♡
はぁ~♡
ポタ…
ポタ…


知らなきゃ良かった…
舞依が追い込まれるほど
俺を好きだったなんて…

そして俺の舞依を
好きな気持ちを
『好き』で踏みつぶされ
てるなんてよ…!
朝ぶりの…
辰也のデカチンポ♡

あーもう止まんないっ
催眠始めてからほぼ毎日
セックスしてるよ私ら♡
私の膣分かるか？
夏休み中挿入れっぱなし
だったから形がさ…
お前専用になっちゃったよ♡

おっおかげで…
あっやば…
イクゥッ

…俺が気付かないのを
いいことに俺の体で
ヤリたい放題…
この調子で毎日だ…
ひたすら一方的な
快楽と好意の暴力

お前すぐイクように
なっちゃったけどな♡
まぁ私もすぐイッちゃうけど…
お前も私のマンコ『覚えちゃった』し
お互い様だよな～さっ次々♡

…もういっそのこと…
舞依にバラそうかと
思ったけど…それは
出来なかった…
怖かった…
今の俺たちの仲が
壊れてしまうことに…
これだけやった舞依に
全てを打ち明けたら…
舞依がどうなるか…
八方塞がりだ…！
どうしたらいいんだッ‼
なのにコイツは…
俺の気持ちも知らないで
夏休み中楽しんでいた…
はぁ～♡
しかも…舞依は
とんでもないことを
思いついてしまった
さぁて今日も始めるか～
辰也お勉強の時間だよ♡
私のなっ♡
はい…ここ…
んっ…ふっ♡
じゃあいつもの…
そうそこ…っ♡
そこっ♡
あッあッ
だめ…っ
おっ覚えてるっ♡
かし…こい…っ

あんっこれ…
そうこれだよ♡
次のも覚えてて…
んっえら～い♡
クリ責め…
すごっ♡
こんなの自分で
ヤルよりいい…あッ!?

ちゃんと覚えて偉いぞ～辰也っ
はぁ～…
はぁ～…
しかしこれやばぁ…催眠中でも教え込めばちゃんと覚えてくれる…
そう…舞依は俺の無意識に刷り込みをしてきた

次は…あっんっちくびぃっ♡
これ…いい…っ私を覚えさせるって♡
シコシコ♡シコ♡シコ♡シコ♡
あぁ♡あ♡

挿入してGスポット擦られるの…
本当…癖になっちゃうッ♡

辰也で私の体開発させるの最高っ♡
あっイッちゃうイッちゃうッ♡

ジンジンアアッ
オッ
オッ
イックぅ…っイッ…！
イクのとま…んないっ♡
ビッビッビッ
ふーっ
ふーっ
キュッ
ぬぽぉ…ッ

はぁ～…
はぁ～…
ふ…ふふ…
ふへへ…っ
…もっと覚えさせたいなぁ…
もっと刷り込みたい…辰也の無意識に…私を感じさせたい…もっと♡
にまぁ…♡
辰也…辰也ぁ…なぁ次覚えよ？私を…知って♡
やっやめてくれ…っ俺の知ってるところで俺の知らない舞依を刷り込むなんて…俺がッ知りたいのに…ッ‼

俺の想いは空しく
舞依は躊躇せず
覚え込まされた…
夏休み中どこでも…
なんだって
やらされた
初めての
アナルセックスだって…
あ…ぐ…ッ
はいっちゃ…
お尻に…ッ♡
アナル処女もお前に
奪われちゃったな…♡
ズンッ
ズンッ
ズンッ

気持ち良すぎてもう出ちまった…なんだよこのケツ穴…入り口でギュウギュウに締めるくせにナカがふわふわで包み込んでくる…おかしくなりそうだッ
今日からこっちでも搾り取られんのかよ…ッ
ハロォ…
でも…一番にキツかったことが刷り込みに気付いた舞依があることを思いついた…それが
俺の意識に舞依への好意を刷り込んできやがった!!
こいつ刷り込めると思って毎日毎日耳元でこれをしてくる
本当に…俺の気持ちを知らないんだな…そんなことしても無駄なのによ…っ
…こんなこと知られたら死ぬわ…
俺の方が恥ずかしくて死にそうだよ…っどうしてこんなことに…俺たちは…
好き…好きなの♡
辰也は私のことが好き♡

…なぁ風間…
お前なんか…顔
コケてきてないか？

気のせいかと
思ったんだけど
更に酷くなって…

ああ…夏休み明け
よりやつれてるぞ
…大丈夫か？

……えっ
…俺が…か？

すりすり

あ～確かに
ちょっと夏バテ
気味かもな～

夏バテか…
本当大丈夫か？

ああ平気平気ありがとうな
心配してくれてさ！

やっべー…
顔に出てた…バレてた
思った以上に影響が…っ

こんなんじゃ…舞依に
バレちまう…でも…
あいつがダメになる前に
俺がダメになっちゃう
かもしれない…

よう！
辰也っ

なにシケた面してんだよ
さっ帰ろうぜ！

シケた面か…
また始まるのか…

俺いったいどうしたら
いいんだよ…なあ舞依

お前も…毎回
催眠かけんのに
緊張してんのな…
いいな楽しそうで
…え…っ
……？
今日も我慢我慢…
それに俺も気持ち良いし…
受け入れちゃえば…
…あれ俺何して…
…あれ？
な…何言ってんだ
それを聞くのは
私だろ…急に
わけわかんない
ことしてさ…
何してって…
…はぁ？…えっ
…そ…の…っ
だって俺はその…
こっこれ…使って
欲しくなくって…
……は…？
つか…うって…
なに…それ…？
はぁ…訳わかんない
辰也どうしたの…？
ちょっと…放してよ…
ねぇ…辰也…本当
どうしたのよ…？
ごめん…耐えら
れなかったよ俺
この携帯に入ってる
催眠アプリを…消す…

…ぐ…ッ
だからな…舞依
もう催眠なんて
もう止そう！
俺がお前の
催眠なんて私
知らないッ!!
私何にも
してないッ!!
放してぇ！
あっ
おっ
おい！
ちょっ
舞依!?
しっ知らない！
何も知らない！
知らない
知らない！
なっ…はぁ!?
くそ…いい加減に
しろよお前！
もう俺にバレたんだ
往生際が悪いぞ！
この…っ
ヤダヤダッ
ヤダ…ヤぁ…

はぁ…はぁ…っ
ふぅ～…
…しぶとい…
そんなに…俺を催眠
させたいのかよ…ッ
ふぅっ
ふぅっ
違う…違うの…っ
何が違うんだ…！
ああそうかよ…渡せない
って言うなら……
好きにさせてもらうわ！
ビクッ
はぁ――ッ!!
カタ
カタ
カタ
はぁ――ッ!!
えぇ…？
なに…なになに？
なになな
なぁ…ゆっくり
その態勢じゃ
ケツ丸出しで
隠せないもんな！
しかも弄る前から
濡れてんなぁ？
はぁ――…っ
はぁ――…っ
…良いんだぜ
体起こしても？
ビクッ
ビクッ
ビクッ
お前のおかげで
気持ちいい場所
全部把握してるぞ
…ここか？
ここ？ここもか？
ふぅ～～ッ!!
ビクッ
ビクッ
ビクッ

なんで…っ♡
知って…ッ♡
ずりっ
ずりっ
お…おおっ♡
ビクンッ♡
ビクンッ♡
ビクンッ♡
ビクンッ♡
なんでぇ…知ってんのぉおおっ♡
…まだ…諦めないのかよ…俺にバレてんだからいい加減…
はぁ…っ
はぁ…っ
やだやだ！
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ビクンッ
ビクンッ

そうか…
そうかよ…
ッ!?
んじゃ…続き
やらせてもらうわ…
ひぃッ!?
はい…っ♡
はいっちゃ…っ♡
何信じられないって
感じで言ってんだ!
いつも挿入れて
きただろ…ッ
散々にッ!!
このデカケツめ!
おッ♡
おッ?
おおッ♡
みちっ♡
みちっ♡
みちっ♡
俺のチンコをこの肉厚
マンコで虐めやがって…!
こんな風にッ!
されて気持ち良さで
狂いそうだったんだぞッ!?

おお…
ギュウギュウ
締まるわ…！
どうだよこれ
お前の好きなやつ♡
あぁあ
…本当は俺が
お前のエロいところ
見つけたかったのに！
もうお前の体なら
何処が敏感なのか
覚えちまったよ！
ヤだ…っ
んあ…
ぬいてぇ…
お前が勝手に
教えこんだ
おかげだでなッ

俺の方がずっと前から
好きだったんだぞ！
お前なんかより
ずっと前からッ‼

俺が舞依を
好きになるように
刷り込んできたよな!?
覚えてるか!?
毎日好きってよ！
いやぁぁ…っ

……っ
…クソ…クソッ！
そんなもん無駄
なんだよ！
おっ俺の方が…

……はぁ…
言っちまった…
……？
…え…
ぬち…
ぬち…
ぬち…
おっおい…
何やってんだよ…
ぱちゅ…
ぱちゅ…
ぱちゅ…
ぱちゅ…
ぱちゅっ
なっなあ舞依？
動くのやめろって…
射精ちゃうからさ
今ゴムしてないし…
ぱちゅ…
ぱちゅ
ぱすんッ!!

おい…っ
止まれって…
何考えてんだ！
だから出ちまうって
言って…
はぁッ
はぁッ
催眠
START
あ…
イイ…
ごめんなさい！
どうして催眠を!?
もう必要ないだろっ
あ…やば…出るッ
出ちまう…ッ!!
ごめんなさい!!
催眠するつもり無かったのに…私最低…また辰也の気持ち踏みにじった…！
けど…私嬉しくて…疼くの！
膣に精子欲しい…っ♡
ダメなのに…絶対孕んじゃうのに！
中出しの快感で戻れなくなっちゃうのにぃ…っ！
ごめんっ止まんないのッ♡

ダメだ出る…！
初めての中出しも
催眠なんて…！
ごめんなさいっ
ごめんなさいッ
ごお
えぇッ♡
おぉ
おぉッ
ブルルル

初めての中出しも奪っちゃった…
その……我慢が…出来なくなってさ？
でもほら…これで一回も二回も変わんないから中出ししても…だっ大丈夫だな！なっ辰也？

ふうっ

はぁ～～っ
はぁ～～…っ
ごめんな…辰也…

お前ぇぇ!!
俺の気持ちを知りながら…こんなこと！
中出し…こんな気持ち良くて…俺だってっしたかったのに…！
ごめ
あ…ぐぅ…イクッ！腰が…抜けそう…！こんなこと独り占めしやがって…！
俺が満足するまで止めないからな！

ん…はぁ～…っ♡
中出し最高…っ
もっとチンポぉっ♡
いつの間にかこいつの
ペースに…忘れてた…
性欲モンスターっぷりを…
はぁ…
はぁ…
コイツを痛い目に
合わせたいのに…！
…そうだ…いい案が
あった…あれだ！

早く～ん!?
ちょ何…？
好きだぞ…舞依♡
ッ!?
はぁ!?やめ…ッ
何言って…!?
止めて止めて！
あ～俺刷り込まれ
ちゃったからな～
それにお前がたんまり
好きって言われ
ちゃったし…なぁ？
返さないと♡
いい！いいって！
さっき言われたので
もういいから！
遠慮すんなよ～
やめ…
はず…
たすけ…
あ…あ…
やぁ…っ
んぉ…っ
…っ
…っ

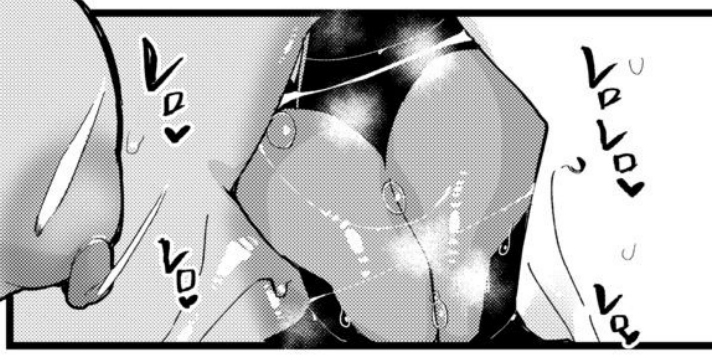
…失神しやがった…舞依…分かるか？
これを毎日された俺の気持ちを！
ラー…ラ～…
今度は俺がお前を好き勝手させて貰うからな！
あぁあぁ～
カリカリカリッ
カリカカカカリッ
精液を搾取するためにあるようなケツ穴もやっと好きに出来るのか！
ブシャアアッ
ボコッ
ブリュッ
ブリュッ
相変わらず…すっごいバキューム…あっ出る出る♡
ボコッ
ボコッ
ボコッ

さっきから…
気持ち良すぎて
射精止まんねぇ…！

はは…お前の体を
好きにできるとか
最高だな！
聞いてっか舞依ッ

おらっ
舌出せよ！
お前ばっかり良い
思いしやがって…！

俺は…俺の意志で
セックスを…射精を
するんだ…！
射精すんだぁぁぁ!!



はぁ…はぁ…
また出そう…
…う…くぅ…！

ビュー
ビュー
搾り…取られるッ♡
ビクン
ビクン
う…おお…っ♡
ビクン
ブルブル
ブルブル
ブルブル

……
……はぁ…
…起きろ舞依…
…起きろって

…ふん！
いったぁ!?
なっ何すんだよ！
…えっなんだよこれ…
ベットがビチャビチャ
じゃねぇか…ん？
マンコから精液が
大量に溢れて…!?
おまっ私が気絶してる
間にどんだけやって…
…舞依

今までしたこと…
その…許すよ…
え…
これで
チャラな…
はぁ…
…そ…そっか…
ありがとな…
じゃっじゃあさ…
また催眠かけて良い？
やっぱイイナリに
するのも…良いかなって
ちょやめろって！
許したからって
やっていいわけじゃ
無いぞ!?
先っちょだけ…
先っちょだけだから！
ちからっ
やめろって…！

あれから
俺たちは
いつも通りとは
言えないが
また一緒に日々を
過ごしている

今俺たちは
幼馴染で
まだ…
友達だ
お互いの気持ちは
知っている

友達だけど
体の関係はあったし
…今も続いている
調教されたみたいで
悔しいが体の方は
我慢できなかった
っていうかこいつ
遠慮がねぇ…毎日の
ように要求してくる
…それに答えられる
俺も大概だけど

とにかく色々な手順を
すっ飛ばしたせいで
付き合うにはまだ
俺たちは心が出来上がって
いないと思ってる
だからちゃんと
一から男女の関係を
お互い築いてから
付き合おうと約束した

だけど…それはそんな
遠くないはずだ
それと…告白は
俺からだって決めている
これは無理矢理決めた

なんてったって
俺の方がずっと前から
好きだったんだから
おしまい